

[第879回ゼミ報告] 2024年5月3日号

円安へ急落で1ドル160円に到達。直後の日銀介入で153円まで急騰。1971年まで360円の固定相場から変動相場へ。戦前1ドル1円~3円だとか…
4月24日のゼミは、レーニン『帝国主義論』の8「資本主義の寄生性と腐朽」、9「帝国主義批判」を後藤さんの報告で行いました。帝国主義の経済的基盤は独占であり、その停滞と腐敗の傾向は免れない。植民地領有はその寄生性と腐朽により、金利生活者と高利貸国家が形成される。さらに労働運動の内部では、日和見主義から特権的労働者を生み出し、労働運動を腐敗させていく。帝国主義批判とは社会の階級全体のイデオロギーに基づく帝国主義の政策に対する姿勢と捉える。帝国主義が生み出す矛盾は深刻化を助長するが、その矛盾の緩和に後退するのかは、帝国主義批判の根本的問題である。ホブソンは帝国主義は不可避であるという議論に反対し、さらにカウツキーはマルクス主義を放棄しブルジョア改良主義に鞍替えし、資本主義のもとでの恒久平和は可能だとした。レーニンはホブソンの「国際帝国主義論」とカウツキーの「超帝国主義」を批判し、それらの同盟は帝国主義同盟として現れた。報告者は長文のレジュメと資料で現代の問題まで考察・報告した。討論では、レーニンの時代と今とは帝国主義はどこが違うのか、ヘゲモニーが英国から米国へ、そして米国の衰退が始まっている。金融資本の支配では銀行がその役割をしていたが、フォーディズムで産業資本が金融、さらに投資・保険へと、最近は新しい金融・デジタルICと、独占の形が変わってきた。組立産業である重工業・自動車からGAFAMの情報独占へ。そしてAIでどうなるのか。アメリカ帝国主義は衰退したのか、中国は資本主義国であり政府のみが社会主義・共産主義だ。米国の債務膨張は、寄生性と腐朽の象徴である。米国の強さはデジタル技術・シリコンバレーの存在だ。会場参加は小野さん・川口さん、山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん、竹内さん・後藤さん・中村さん・初参加の田中與念子さんの9名でした。

* 5月8日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 833 0436 6770 パスコード: 582919

* 今月の第4週ゼミ、5月22日で『帝国主義論』が終わる予定で、次のテキストを決めます。テキスト候補に、佐々木隆治『資本論第3巻』、隅田聡一郎『国家に抗するマルクス「政治の他律性」について』が上がっています。それ以外に候補本があれば、推薦願います。

***** ゼミ日程 *****

5月8日(水)午後5時半~8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『マルクス解体』第2章 M/Eの環境思想 報告小野さん

5月22日(水)午後5時半~8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
レーニン『帝国主義論』10. 帝国主義の歴史的地位 報告中村さん

6月12日(水)午後5時半~8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋
斎藤幸平『マルクス解体』第3章 ルカーチ・一元論批判 報告者未定
その後 6/26, 7/10, 7/24 [アイクルの部屋]